

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主張

どんな未来を描きますか

青海 正

◆持続可能な開発目標

現在の生徒が大人になる頃、未来はどうなっているか、考えてみたことはありますか。貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。このような危機感から世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、二〇三〇年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標（SDGs）」です。SDGsは、一七のゴールと一六九のターゲット（具体的にどのようなことをすればよいかをまとめたもの）から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。持続可能〓これからずっと、開発〓発展していくこと、目標〓目指すこと。ですから、「私たちがこれからずっと発展していくために目指すこと」と換言できます。SDGsは、私たちが一つしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示した、つまり、ナビゲーション（ナビ）のようなものです。人類は今、そのナビが示す方向に進めているのでしょうか。そして、私たち自身はどうでしょうか。今、私たちが地球のことを考えて、行動を

1 段目「No 1 ～ 6」は、貧困や飢餓の撲滅、健康に関するもの（人の安全・安心）、2 段目「No 7 ～ 12」は、経済や生活に関するもの（経済のバランス）、3 段目「No 13 ～ 17」は、環境や平和、国境を越えたテーマ（環境・平和）が提示されています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

変えることで「明日は今日よりも幸せな一日」と思える未来がやって来ます。既に、一人一人が幸せになる未来を創ろうと、世界中の人たちが協力して SDGs という活動を推進しています。私たち一人一人にも、できることは数多くあります。世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGs を特別なものとしてではなく、自分の事として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。電気を節約したり、食べ物を大切にしたり、小さなことからでも良いと思います。一人一人の想いがつながり、行動が変われば、世界を変え、新たな未来を創り出すことができます。

◆持続可能な社会の担い手を育む教育

ESD とは、「持続可能な社会の担い手を育む教育」を意味します。SDGs の目標 4 は教育に関するもので、そのターゲット 4.7 に ESD が位置付けられています。日本が提唱した「持続可能な開発のための教育」は、まさに地球規模の課題を自分の事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けるための教育です。学習指導要領において、これからの学校教育や教育課程の役割として「持続可能な社会の創り手」となることができるようにすることが前文と総則において掲げられ、ESD の理念が組み込まれています。生徒が各教科等の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを通して思考・判断・表現しながら課題解決を図る。そして、全ての学校において今まで以上に ESD を推進し、持続可能な社会を創る担い手を育むことを目指し、SDGs の達成へとつながっていきましょう。

（全日本中学校長会会長・大田区立志茂田中学校長）